

いのち満ちる みのり農の里あつま 大いなる田園の町

未来のあつま

作文の部 優秀賞

12 点

しよる来の厚真

中央小学校 三年生

田代 聖 那さん

厚真は、自然がいっぱいあつて、生き物にやさしい町です。私の学校のみならず、とんぼやバッタをつかまえて来たりしています。一年生のころにまどを見たから、リスが、おいかけてっこをしてたこともありました。

厚真の町が何年かたつたとしても、いい人がいっぱいいるのでそのままつづいてほしいです。ジンギスカンやお米が有名なので、いつまでもつづいてほしいです。

かわつてほしいことは、少しですけど、ふしん者が出たり事がおきたりしているの、かわつてほしいし厚真がもっといい町になるといいなと思います。

私は、虫や生き物が好きなので自然がいっぱいある厚真町が大好きです。

私の想ぞうした未来の厚真

上厚真小学校 四年生

齊藤 由 依 さん

私が住んでいる所は、厚真町です。私が思っている想ぞうの未来の厚真は、環境にやさしい町になつてほしいと思っています。

たとえば、厚真町にリサイクルプラザができたり、ゴミをもやす時にでるけむりがきれいな空気にかわる機械があつたら、自然がいっぱいで、動物もたくさんいる、のどかな町になつてほしいと思います。

ます。

その他に、厚真町にできてほしい公園や広場は、公園では、鳥がたくさんいて、動物とふれあえる公園があつたらみんな楽しいだろうと思います。広場には、たくさんの方が外で遊べるように、すこく広い所で、小さい子でも、遊べるような遊具も、おいてある所が、あればいいと思います。

ほかにも、ゴミは、何でもリサイクルできるようになつたらいいと思います。日本は、資源が少ないと、社会の時間に勉強しました。しげん物は、はがきやふくなどになります。生ゴミは、畑のひりょうになります。このように、たくさんの方が、リサイクルされるようになりまし。今は、リサイクルされているものは、紙・布など、ペットボトル、トレー・プラスチック・ポリ袋、かん・びんなどです。私が想ぞうする、未来の厚真では、もやせるゴミも、もやせないゴミも全部のゴミがリサイクルできるようになると思っています。

この厚真町から、ゴミがなくなれば、環境にもやさしい町になり、住んでいる人達が、今までよりも、暮らしやすくなると思っています。

ぼくの考えた未来の厚真

上厚真小学校 四年生

高安 祐 都 くん

ぼくは、昆虫が好きです。なぜかと言うと飛んだり角でてきをたおすのが、かっこいいからです。ぼくの、将来は、昆虫

店や昆虫にかんけいある仕事をしたしたいと思います。のこしていたいものは、森や林です。もしも、そうなつたら、ぼくは、昆虫をつかまえて、もつと調べたいです。世界の昆虫が全部厚真に、いたらいいで。ぼくは、一番ヘラクレス・ヘラクレスを調べたいです。カブトムシの、種類は、全部調べたいです。死んでいるのが、いたら標本に、したいです。厚真町は、自然がとても豊かです。山や森には、木がたくさんあります。もしかしたら、北海道や日本では、まだ見つかつていない、カブトムシやクワガタがいるかもしれせん。だから、これからも、木や森を大切にしていきたいです。木や森を、守つていつてもらいたいです。そんな、森や林があつたらぼくは、いつも昆虫をつかまえて、いきま。

ぼくは、少年野球をやっているの、春、夏、秋、冬ずつとつかえる野球ドームがほしいです。そして、もつと、野球が、うまくなりたいです。ぼくは、ホワイトボールと言う球と、トンボールと言う球を、投げたいです。投げれたら、ぼくは、ピッチャーが、やりたいです。ドーム球場があれば、今よりももつともつと練習することができるし、野球をする人が増えると思います。高校も甲子園へ行つて活やくするぐらい強くなると思っています。未来の「スペシャルドーム」では、プロ野球チームやメジャーリーグのチームの試合がおこなわれます。そうなつたら厚真町には、たくさんの人達が来ます。そして、ぼくの昆虫店「カブトムシキング」にもたくさんのお客さんが来ると思っています。

未来の厚真

富野小学校 5年生

渡部 勇 樹くん

僕は、サッカーを習っています。夏の間は、表町公園でサッカーの練習をしています。ちゃんとしたゴールがほしいです。そしてたくさんの人たちが、サッカーに興味をもつて一緒にスポーツをしてほしいです。

もう一つは、野原公園サッカー場は小学生から一般まで、幅広く使えるサッカー場で、あつてほしいです。

Jリーグや有名なせん手が来てサッカーが上手になれるように指導してもらえりょうなサッカー場であつてほしいです。いろんな人と交流を深めて友だちをいっぱい作つてサッカーせん手になりたいです。

将来のあつま

富野小学校 6年生

沖田 明 子さん

私は、将来あつま町に、二つの物があつたらいいと思います。

一つ目は、大きな図書館があつたらいいなあと。あつま町にも、図書館はあるけど大きな図書館はないから。私は面白い本が大好きなのでいろいろの本を図書館で読んでみたいです。あつま町には、森がたくさんあるので、森が見える所にあつたらいいと思います。

二つ目は、あつま町に映画館があつたらいいと思います。映画館は、大きな街

にしかないの、将来あつま町にもあつたらいいと思います。映画館があつま町にもあつたら、友達といっしょに行つたりできるからです。

私が思っている大きな図書館や映画館は、将来あつま町にもできたらいいなあと思ひました。あと、今のあつま町を住みやすい所にしてほしいと私は思ひました。

将来の厚真

中央小学校 6年生

佐伯 武くん

ぼくは、ある雑誌を読んでいて、ぼくたちの厚真町にもあつたらいいと思つたものがありました。それは、東京の地下に造つた植物工場です。太陽光がなくて人工の光で米や野菜、果物を育てるので。農業を使わず、天候にも左右されないので、安定生産することができりょうです。ある会社が、都会の人に農業に関心をもつてもらひうのがねらいで造つたそうです。

ぼくの、じいちゃんの家も農家をやっていて、いちごをつくつています。冬はビニールハウスがつぶれたり、気温も暑すぎたり寒すぎたりするたびに、大変な思ひをしています。この前、テレビで、とれすぎたキャベツを値段が安くなると思ひつてトラクターでつぶしてました。もつたないし、作つた人にとってこんな悲しい事はないと思ひます。

ぼくは、地下ではなく、五階建てぐらひのビルにして、一階は水田、二階は畑

というようにして、台風がきてもひょうが降つてもびくともしない農業ビル工場ができればいいと思ひます。太陽電池や鏡で光をとり、スプリングラーで雨のかわりにします。鳥も虫もないので、かかしはいらないし、もちろん農業もいりません。冬の、野菜が少なくなる時にたすかると思ひます。

それから、農業をする人の服装をかつこよくして今以上にみ力的で、活発に農業ができる厚真町になれたらいいと思ひます。

未来の厚真

上厚真小学校 6年生

保田 牧子さん

わたしは、未来の厚真には、デパートや、スーパーやコンビニができてほしいです。

なぜかという、厚真には、デパートや、スーパーやコンビニが少ないからです。

デパートやスーパーやコンビニができればみんながわざわざ、苦小牧へ行かなくてもいいからです。

そうすれば、買ひわすれても買物が、できるから、いいと思ひます。

また、夜に買物をしようとしても、コンビニがあるからいいと思ひます。

ほかに、できて、ほしいのが、あります。

それは、体にいい、食べ物をつくる工場ができてほしいです。

たとえば、厚真でとれる、ハスカップ

でパンなど、まだない物を作つて、それを、おとしよりや子どもが食べて、元氣になれば、いいと思ひます。こいうふうな、工場ができたらいいな、思ひます。

ほかに、ゲームセンターや、ペットショップなどもできてほしいです。ペットショップでは、犬やねこや、うさぎや、ハムスターなどを入れて、ほしいです。

ゲームセンターでは、UFOキャッチャーやボウリングなどがあるといいです。

ゲームセンターやペットショップができてると小さい子や、小学生や中学生なども、楽しめて、ペットショップとかは、厚真にないから、たてた方がいいと思ひます。

たてられないかも、しれないけど、できれば、たつてほしいです。

これからの厚真は、お店や人が多くなつてほしいです。

未来の厚真

厚真中学校 一年生

猪師 百恵さん

春、裏山ではウグイスが鳴き、こぶしや桜の花が咲く。山では、山菜が採れ、私の家の食卓にならぶ。通学途中、ふきのとうを見つけ春の訪れを伝える。夏、せみの声がひびき暑い夏の始まり。景色が緑に変わり、くわがたやチョウ、きりぎりすたちが姿を現す。畑には夏野菜。スイカがまちきれない。秋、紅葉の始まり。くりやどんぐりの実を求めるかわいりりすたちの姿。首をかしげる稲穂。町全体が秋の収穫に忙しくなる。冬、厚真川に氷が張り、景色が一面雪におおわれる大自然。透き通るような星空が寒さを物語る。

この中でも一番好きな季節は、秋です。田んぼが、こがね色になり、紅葉も始まって私の町ならではの变化を楽しめるからです。これが私が十二年間育ってきた厚真町の四季なのです。

ずっとこの町で育ってきた私ですが、都会にあこがれたことがあります。大きなデパートがたくさんあり、いつでも行きたい時に買い物に行け、はなやかなイメージもあるからです。

私は、夏休みに札幌に行く機会がありました。札幌は、町並が整備されてキレイでした。デパートや映画館、イベントやコンサートにも行けて楽しめることがたくさんあります。病院もたくさんあり、充実した設備もあるので安心できます。また、地下鉄やバスなど交通面でも発達

しています。その反面、空気が汚れていて、騒音も気になりました。アスファルトばかりで、土のぬくもりがなく疲れた事しか覚えていません。改めて考えてみると都会の便利な暮らしが、自然をこわしていると感じ、複雑な気持ちになりました。

厚真は、自然がたくさんあり、静かで、空気もきれいなので住みやすい場所です。けして都会とは言えませんが、自然とふれあうことができます。小さいころ図書館や教科書でしか見る事ができないはずの昆虫や植物などを実際に外で発見することができました。また、四季おりおりの新鮮な野菜を食べることも楽しみの一つになりました。ゆつくりと変化していく厚真町だからこそ守られてきたものがたくさんあるのだと思います。今まであたりまえだと思っていた自然が宝物だと実感しています。不慣れな所もありますが、私たちの食をうるおし心のやすらぎをくれるこの町は、まさに自然と共存している町なのです。文明と共に厚真町も発展するでしょう。しかし、私たちが生活し、安らげる場所でなければ札幌などの大きな町と何もかわりません。自然の恵みと人とのきずなを守りながら発展してほしいと思います。そして、緑豊かなこの町が都会から来た人たちにも、ほっとできる町であり続けてほしいのです。

将来の厚真

厚真中学校 二年生

工藤 光輝くん

僕は厚真町が将来、良い町になる為には今ある大きな問題を解決しなければならぬと思います。その問題とは森林破壊です。この田舎まち厚真町でも確実に森林破壊は起っているという事を僕は森林伐採の現場を見て知りました。そこでどうしたら森林破壊がなくなるか考えました。

まず初めに考えたのはどうして森林が切り倒されるのかです。すぐ考えましたがやはり木はお金になります。そして木を切ったあと地は畑にしたり家を建てたりできる土地になります。そのことから結局、人間が目の先の事しか考えずにつまり「自分が良ければ良い」という考えを持っているから森林は切り倒されていく一方だと考えました。

そして二つ目に考えたのは問題の解決法です。その答えはすぐには見つかりました。町民一人一人が森林の大切さを知り、森林破壊に「NO」と言える強い気持ちを持つ、ただそれだけのことです。

私が描く未来の町あつま

厚真中学校 二年生

土肥 礼奈さん

私が思う「今」の厚真町のイメージは、自然がたくさんあり、おいしい物もたくさんあり、人とのふれ合いも多く、とても過ごしやすい町だと自分では思う。近

あつまの最終目的

厚真中学校 二年生
森 田 綾 くん

ぼくは、今の厚真にはまんぞくしていません。

自然がどんどん、どんどんへつっていつて、このままでは、いずれ自然がなくなります。

このままでいいんでしょうか？それとお年よりのしせつ、厚真は少ない方ではないと思いますが、しせつだけで、ほかはどうでしょう？買い物に行きたくても、移動手段がないからいけない、といったようなことも、ないとはいきれないのではないのでしょうか？

厚真町民全員が笑顔がたえなく、すみやすい町にするのが一番の目的だと思います。

笑顔になるために、移動手段をつくることとはいりよ（うごけない人に対して、おつかいや、物をとってあげたり）をする必要があると思います。

住みやすい町にするには、自然を切らない、逆に自然を増やし、守ることが必要です。

町を都市化するだけが住みやすいんじゃないんです。

自然がおおければ、空気もおいしくなるし、食べ物もおいしくなる、それだけではありませんが、プラスになることばかりなのです。最後になりますが、町民全員で町づくりをしなければ、いい町にはなりません。

だれかにたよっちゃだめなんです。全員でいい町をつくつていきましよう。

未来のあつま

厚真中学校 三年生
三 上 真 依 さん

今、私が住んでいる厚真町。何十年かが経つての「未来のあつま」はどのようなになっているだろう…。

私が思う今現在の厚真町とは、まず初めに「緑」が沢山あるという事です。自然がとても豊かであり、お米や野菜等もとても美味しく感じられます。また、それと同時に厚真町の人々は「心あたたかい」と思います。たつた五文字一言の「こんにちは」でも多くの人々は笑顔で「こんにちは」と返してくれます。

他の大きな都市では、あまりこういう光景は想像出来ないと思うし、このような行動も出来ないと思います。このような事から私は「心あたたかい町」だ思うのです。また、これらが今現在、厚真町がもっている私のイメージです。

何十年かが経つた「未来のあつま」も、今のすばらしい状態を保つたまま、厚真町は変わらないと思います。自然が沢山の食べ物美味しい、人々があたたかい…きつとこれが「未来のあつま」です。これからの厚真町をつくっていくのは、わたしたちです。そのためには、今以上厚真町を知る事が必要です。

私たちが「未来のあつま」をつくり、守っていく、ぬくもりいっぱい厚真町にしていきたいと思うと同時に、それが「未来のあつま」であって欲しい…という、私の願いでもあります。

厚真町の新しい「(仮称)まちづくり計画」策定事業にともなって、7月から小中学生による「未来のあつま」をテーマとした絵画と作文の募集を実施しました。

応募数は、絵画90作品、作文67作品で総数157点となりました。

どの作品もあつまの未来をイメージした力作ぞろい。

11月7日、教育関係者、まちづくり委員など審査員5人による厳正な審査の結果、優れた作品として絵画19作品、作文12作品の計31作品が優秀賞として選ばれました。

さらに、優秀賞の中から特に優れた作品として、富野小学校2年生の下川原美希さんの絵画が審査員特別賞に輝き、優秀賞受賞者全員に町長表彰が贈られました。

絵画の部 優秀賞

18 点 (審査員特別賞を除く)



「いろいろなおみせ」

軽舞小学校 1年生

西村 あかねさん

「人がいっぱい町」

富野小学校 1年生

森山 陽花さん



「虫がいっぱいいる町」

富野小学校 2年生

山家 零次くん





「みらいのあつま動物園」

上厚真小学校 2年生

宮脇由明さん

「かんきょうのよい厚真」

上厚真小学校 3年生

長門 純くん



「厚真運動公園」

上厚真小学校 3年生

佐藤優希くん

「しぜんの町」

上厚真小学校 3年生
松田 恵里香 さん



「緑いっぱいのもちを作ろう」

富野小学校 4年生
段坂 翔平 くん

「厚真牛ステーキ屋」

上厚真小学校 5年生
長谷川 将士 くん





「未来の厚真」

軽舞小学校 5年生

菊池弥生さん

「未来の厚真」

軽舞小学校 5年生

桐木麻有さん



「未来の厚真」

軽舞小学校 5年生

工藤秀聖くん



「自然がたくさんある町」

上厚真小学校 6年生

上村 誠くん



「未来の厚真」

上厚真小学校 6年生

西村 まいさん

「未来の厚真」

軽舞小学校 6年生

三浦 有貴さん





厚真中学校 2年生
伊藤 夕美さん

厚真中学校 2年生
齊藤 睦さん



厚真中学校 2年生
橋本 佳奈さん